



以下、項目を確認しながらできる限り埋めてください（不明の場合はその項目を大きく×）

同居人数 (本人含)	人 (2名以上 の場合⇒ ○	2人以上 の場合の 同居者に ○	配偶者・祖父・祖母・父・母・兄弟姉妹・子①( 歳) 子②( 歳)・子③( 歳)・子④( 歳)・子⑤( 歳) 友人知人・その他( )	
居住 地域	県	市・区 町・村	現在の預貯金 +手持ち金	本人: 円 世帯: 円(本人除く)
コロナ前の 月収	本人: 円 世帯: 円(本人除く)		現在の月収	本人: 円 世帯: 円(本人除く)
現在の滞納や 借金について	1. 有 2. 無 (有の場合は下の該当項目に○) (滞納・借金合計: ) 公共料金・住宅ローン・家賃・携帯料金・公的保険料(医療・年金)・税・ その他( ) / 借金 (←消費者金融・カード・友人等一つでもあれば○)			
コロナ特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の利用の有無 1. あり (約 円) 2. なし ▶ 1. 返済中 2. 返済済み 3. 免除(申請中も含む) 4. 猶予(申請中も含む)				
現在の主な 居住形態	1. 持ち家 2. 借家(*) 3. 会社の寮 4. 友人の家 5. ネットカフェ等 24時間営業の店 6. その他( ) 7. 不明 *)借家の場合の家賃: 円			
生活保護の 申請の希望	1. する 2. しない (理由: )			
国に望むことは 何ですか				
備考				
相談者氏名				
取材対応の可否	可 ・ 否 【可の場合は下に連絡先を記入】			
ご住所:				
連絡先(携帯電話等):				

\*参考：相談者の職業（産業）を尋ねる際に以下の分類を念頭に尋ねてください。

## 産業大分類

1. 農業・林業・漁業    2. 鉱業・採石業・砂利採取業    3. 建設業    4. 製造業

5. 電気・ガス・熱供給・水道業    6. 情報通信業    7. 運輸業・郵便業

8. 卸売業、小売業    9. 金融業・保険業    10. 不動産業・物品賃貸業

11 飲食業・宿泊業

11a. 飲食業    11b. 宿泊業    11c. 遊興飲食店（風俗含む）

12. 医療・福祉    13. 教育、学習支援業    14. 複合サービス事業

16. サービス業(他に分類されない)

16a. 専門サービス・学術研究機関、16b. 洗濯・理美容・浴場、16c. 旅行業

16d. 娯楽業    16e. その他生活関連サービス    16f. 廃棄物処理

16g. 自動車整備・機械修理、16h. 建物サービス業

16i. 警備    16j. その他事業サービス

17. 公務（他に分類されるものを除く）

18. 分類不能の産業（シルバー人材センターなど）

19. 無職

20. 不明

## 【注意事項】

- ・ 最初のページの右上に相談にかかった時間を加えました。24 時間表記でご記入ください。
- ・ その下に、「今回の相談が何回目の相談か」がわかる設問を加えました。2 回以上の場合（今回を含む）は数字をお書きください。（今回を含みますので「1」はありません）
- ・ 職業（地位）のところの「無職」について、コロナの影響で失職したのか、もともと無職なのかがわかる設問を加えました。無職と回答した場合は、どちらに該当するか聞いていただき、どちらかに○をつけてください。
- ・ 相談概要のところ、「□ つながる電話経由の電話である場合は、左の□にチェックを入れてください」。という文言を加えました。該当する場合はチェックを入れてください。
- ・ 年齢は「〇〇代」と答える人が多いため、年齢の欄に代を付けました。相談者が 48 歳などと正確に答えてくれた場合は歳に○をつけてください。 〇〇代と曖昧にしか答えてくれなかった場合は、代の方に○をつけてください。
- ・ 聞き取れなかった項目については、大きく×をしてください。これにより預貯金などが 0 円なのか、それとも聞き取れなかったのかを識別します。（収入が 0 円なので空欄なのか、収入が聞けなかったために空欄なのかはつきりさせることが必要）
- ・ 職業（地位）について、複数かけもちしている場合は、その旨、備考欄に記入してください。
- ・ 相談票は A3 で印刷し、左に 1 枚目、右に 2 枚目がくるようにしてください。
- ・ 3 枚目は A4 で印刷し相談の際に手元に置いて、産業を聞くときの参考にしてください。